



平成17年 8月 8日
日本原子力発電株式会社

東海第二発電所の手動停止について（調査状況）

当社、東海第二発電所（沸騰水型軽水炉、定格電気出力110万キロワット）は、平成17年4月23日から第21回定期検査を実施しておりましたが、所定の点検が終了したため、8月7日3時に原子炉を起動しました。

その後、起動に伴う現場パトロールにおいて、主蒸気トンネル室入口付近で蒸気の漏えいが確認されたため、22時46分に原子炉を手動停止しました。

なお、本事象によるけが人はありません。また、主排気筒モニター並びにモニタリングポスト*¹の指示値の変化はなく、外部への放射能の影響はありません。

（平成17年8月8日2時発表済）

その後、8月8日（1時）から現場の状況を確認したところ、主蒸気ドレン配管内の残留水を排出する配管の先端から若干の蒸気漏えい（もやもや）などを確認しました。

このため当該ラインのドレン弁（閉状態）をさらに閉操作したところ、2時過ぎに漏えいは停止しました。

詳細は、引き続き調査中です。

* 1 周辺環境の放射線を測定する装置

添付図 東海第二発電所 主蒸気系統概略及び漏えい箇所

以 上

東海第二発電所 主蒸気系統概略及び漏えい箇所

